

第38回関東川崎病研究会

日時 令和元年 6月15日(土) 14:30~18:00
会場 日本赤十字社医療センター 3F 講堂
東京都渋谷区広尾4-1-22
会費 1,000円(コメディカル・学生・大学院生:無料)

○製品紹介 献血グロベニン-I 静注用について 日本製薬株式会社

○開会のご挨拶

第38回関東川崎病研究会 会長 医療法人社団東光会 戸田中央総合病院 小児科 部長 松永 保 先生
14:30~15:45

○一般講演 座長 東京都立墨東病院 小児科 部長 三澤 正弘 先生

1. 「川崎病の経過中に精巣上体炎を伴った1例」
埼玉県立小児医療センター 感染免疫・アレルギー科 谷 柚衣子 先生
2. 「胃潰瘍・消化管出血を合併した川崎病の1例」
東京女子医科大学八千代医療センター 小児科 安田 学 先生
3. 「川崎病急性期に好中球の著明な増多をみとめ
ウリナスタチンとシクロスポリンが奏功した症例」
埼玉医科大学病院 小児科 颯佐 かおり 先生
4. 「川崎病における大動脈の炎症について部位別検索を含めた組織学的検討」
東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科 佐藤 若菜 先生
5. 「経年的な拡大を伴う川崎病性冠動脈瘤に対し、
出産後に冠動脈瘤切除術と冠動脈バイパス術を施行した1例」
日本赤十字社医療センター 小児科 藤岡 泰生 先生

○会長要望講演 16:00~16:50

座長: 東京都立小児総合医療センター 副院長 三浦 大 先生

「病因研究から生まれた川崎病の新たな治療戦略:

シクロスポリンを併用した初期強化療法の効果と課題」

東京女子医科大学八千代医療センター 小児科 教授・診療科長 濱田 洋通 先生

○特別講演 17:00~18:00

座長: 医療法人社団東光会 戸田中央総合病院 小児科 部長 松永 保 先生

「冠動脈内径Z scoreの理論と実際:

川崎病患者にはどのように使用すべきか?」

国立成育医療研究センター 臨床研究センター企画運営部 部長 小林 徹 先生

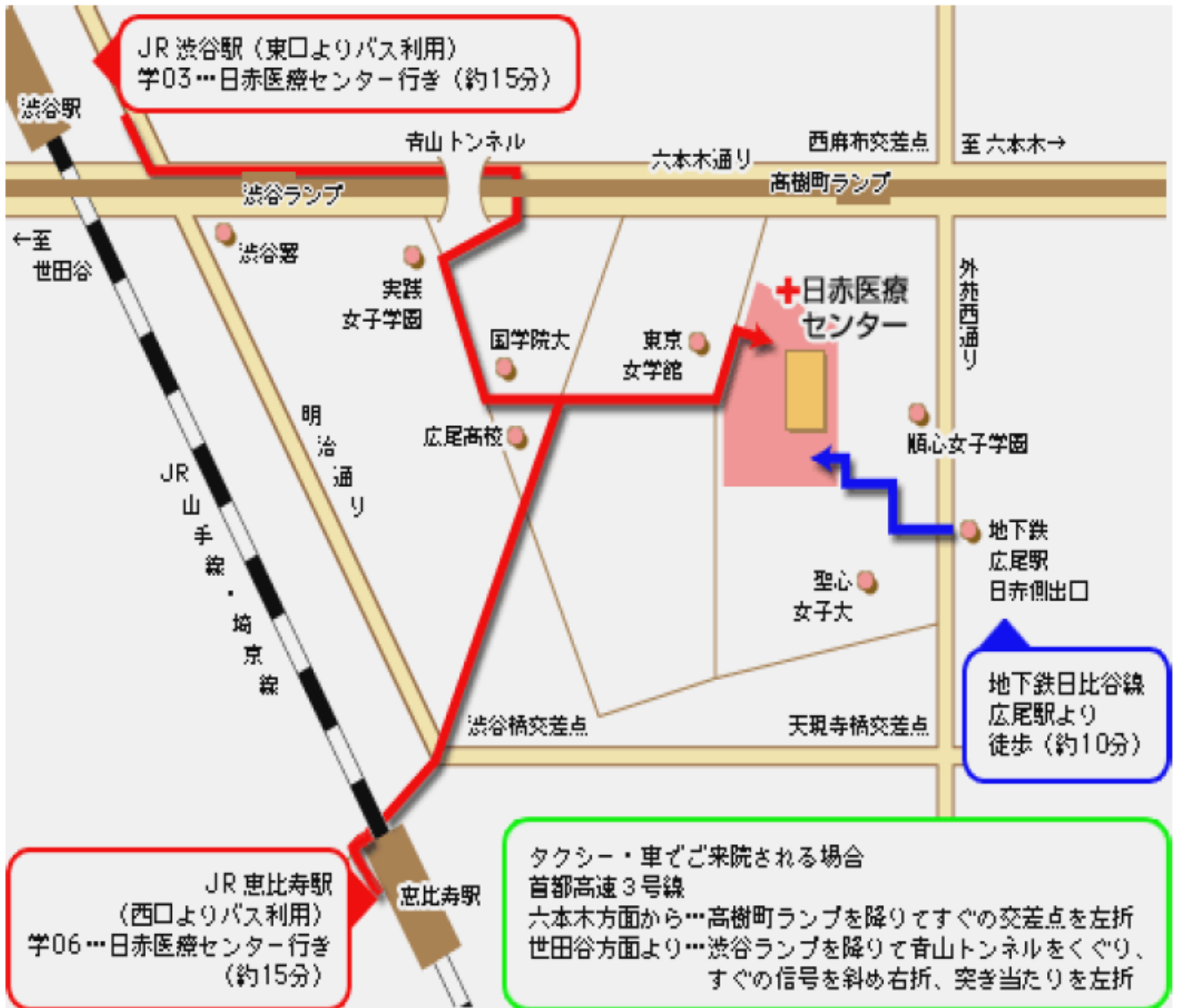
○閉会のご挨拶

東京都立墨東病院 小児科 部長 三澤 正弘 先生

*当研究会は「日本小児循環器学会専門医 8単位」(講演の座長・演者は「日本小児循環器学会専門医 11単位」)の取得が可能です

共催: 関東川崎病研究会/日本製薬株式会社

【会場のご案内】



日本赤十字社医療センター

住所：〒150-8935
東京都渋谷区広尾4-1-22

(実務担当)
日本製薬株式会社
赤澤 史隆
090-2210-0303
tokyo-br@nihon-pharm.co.jp